

平成28年度各部の重点取組の取組結果

部(局)名	消防本部
消防長名	村上 博之
理事名	村上 和則

【基本姿勢】

火災、救急など日常的に発生する災害のほか、近年では、地震、風水害及び土砂災害など、災害の形態も大規模・複雑化され、消防に対する市民ニーズは、ますます高まっています。そのような状況の中、消防本部が取り組む施策・事業は、「災害に強く安全なまちづくり」に不可欠なものとして、これまで以上に推進していく必要があります。

消防本部は、各施策を進めるにあたり、中・長期的な目標を定め、より具体的で実効性のある事業計画を策定し、消防力の向上と市民から信頼される消防体制の構築に努めます。

【達成度について】

A：達成（設定した目標を達成することができた。）

B：一部達成（設定した目標の一部のみ達成することができた。）

C：未達成（目標達成に向け取り組んだものの、目標達成にはいたらなかった。）

【重点課題】

	重点課題	平成28年度 達成状況
1	北消防署再整備	B
2	防火意識の普及啓発及び火災予防の推進	A
3	消防・防災体制の充実強化	A
4	救急救命体制の充実強化	A
5	救助体制の充実強化	A
6	消防通信指令事務の共同運用	A

部(局)名	消防本部
-------	------

重点課題 1	北消防署再整備
--------	---------

全体の達成度
B
一部達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	大規模災害時に重要な活動拠点施設となる消防庁舎の再整備を推進します。
---------------------	------------------------------------

活動目標
庁舎の老朽化及び耐震化への早急な対応を踏まえ北消防署建替え案を検討します。
施設の複合化・集約化など公共施設最適化計画の方針を踏まえ北消防署建替え案を検討します。

具体的な取組実績
北消防署移転建替え用地として、一般財団法人大阪府タウン管理財団から南千里駅前の第13駐車場跡地を取得し、(仮称)北庁舎(北消防署と南千里庁舎の合同庁舎)について検討しました。
平成28年7月の公共施設最適化推進委員会において、市内消防力強化を視野に入れた既存消防施設との統廃合を踏まえ、北消防署移転建替えが検討されました。

達成目標
北消防署建て替えに伴う基本構想から整備スケジュールなど具体的な計画案を示します。
北消防署建て替えに伴う基本設計、実施設計及び建築費用などの概算を算出します。

達成状況	達成度
取得した第13駐車場跡地での(仮称)北庁舎建設について、関係部局との協議を進め、消防本部としての具体的な計画案を示しました。	A 達成
(仮称)北庁舎建設について、関係部局と協議・検討を重ねていますが、基本設計、実施設計及び建築費用などの概算の算出には至りませんでした。	B 一部達成

総合評価・総括
<p>北消防署は老朽化のほか、庁舎の耐震性が確保されておらず、早急な再整備が必要です。今年度の取組では移転建替え用地として、第13駐車場跡地を取得したほか、北消防署移転建替えに伴う、市内消防力強化を視野に入れた既存消防施設との統廃合等を検討しました。また、今後の取組として、第13駐車場跡地での(仮称)北庁舎建設にあたり、本市北部の災害拠点施設の要として効率的で迅速な災害現場活動を行えるよう、施設機能を充実するよう検討していきます。</p>

部(局)名	消防本部
-------	------

重点課題 2	防火意識の普及啓発及び火災予防の推進
--------	--------------------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	火災予防等を推進し、火災の減少及び被害の軽減を目指します。
---------------------	-------------------------------

活動目標
住宅防火訪問等により、火災予防意識の高揚を図り、放火防止対策や住宅防火対策を推進します。
防火対象物、危険物施設及び高圧ガス施設等への査察により、事故防止の徹底を図ります。

具体的な取組実績
春、秋の火災予防週間中には、住宅防火訪問として各消防署から市内住戸を訪問し、放火防止対策や住宅防火対策の普及活動を実施し、住宅用火災警報器の設置促進にも努めました。また、同週間中に市役所1階において消防フェアを開催し、市内小中学校から募集した防火図画、防火標語を展示するなど、火災予防を広く訴えました。消防音楽隊の演奏会においては、観客に対し火災予防広報を実施しました。防火講演会及び危険物安全講演会を実施し、市民に対し広く防火防災意識の普及啓発活動を実施しました。
消防署においては、防火対象物及び危険物施設への定期的な査察を実施しました。また、消防本部では高圧ガス・液化石油ガス・火薬類施設・危険物施設への査察を実施し、適正な是正指導を図ることにより、事故防止に努めました。

達成目標
住宅用火災警報器の設置等を推進し、住宅火災による人的、物的被害を軽減します。
査察における是正指導のほか、防火管理者講習会等により、自主的な防火管理体制等を確立させます。

達成状況	達成度
住宅用火災警報器の設置率は、これまでの調査により、着実に普及推進されています。また、消防音楽隊の演奏会や、防火防災に関する講演会、火災予防週間中における各行事の実施により多くの市民に対し、防火PRができました。	A 達成
平成28年度中に防火管理者講習会を消防本部において5回実施し、受講者数は291名でした。ここ数年の受講者数は約300名程度で推移しており、市民による自主防火管理体制が着実に確立されています。	A 達成

総合評価・総括
春、秋の全国火災予防週間実施に伴う一般市民に対する防火訪問の実施や、市役所における消防フェアの実施、防火講演会や危険物安全講演会、消防音楽隊演奏会における火災予防広報を実施することで市民に対し広く火災予防をPRできました。その結果、昨年の火災件数は50件と、一昨年同様に少ない件数を維持しました。今後も更なる火災予防を推進し、火災件数を0件に近づけるよう改善していく必要があると考えられます。

部(局)名	消防本部
-------	------

重点課題 3	消防・防災体制の充実強化
--------	--------------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	地震等の大規模災害に対する消防・防災体制強化に努め、災害に強く安全なまちづくりを目指します。
---------------------	--

活動目標
地域の自主消火組織及び事業所の自衛消防隊を訓練等を通じて育成強化を図ります。
地域の実情に応じて可搬式小型動力ポンプや消防水利等を適正に配置します。

具体的な取組実績
市民や事業所へ地域における消防訓練をはじめ、関連行事への参加を要請しました。
未整備地域へ耐震性防火水槽を設置しました。 自主消火組織に対して可搬式小型動力ポンプを配備しました。

達成目標
自主消火組織や自衛消防組織との連携を強化し、消防・防災における地域力の向上に努めます。
可搬式小型動力ポンプ等の計画的な整備により、地域の初期消防活動の体制強化に努めます。

達成状況	達成度
定期的な地域の消防訓練をはじめ、地域防災訓練・消防出初式等へ参加を呼びかけ、職員による実技指導等を実施しました。	A 達成
津雲台2丁目王様広場へ耐震性防火水槽(100m ³)を設置しました。 長野西公園へ可搬式小型動力ポンプを配備しました。	A 達成

総合評価・総括
<p>自主消火組織・自衛消防隊等に対し、訓練や行事を通じた育成・指導が実施できたことに合わせ、未整備地域への計画的な消防水利の整備、可搬式小型動力ポンプの配備等により消防・防災体制の強化が図れたものと考えます。</p> <p>ただし、依然として市内には住宅密集地等もあることから、今後も大規模災害に対する継続した取り組みが必要であると考えます。</p>

部(局)名	消防本部
-------	------

重点課題 4 救急救命体制の充実強化

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標) 救急隊の増隊も含めた救急救命体制の充実強化や応急手当普及啓発を推進し、救命率の向上を図ります。

活動目標

救急業務の高度化に伴う高度救命資機材の整備運用及び救急関連資格取得に伴う教育機関等への職員派遣を推進します。

AEDの使用も含めた救急講習を計画的に実施し、応急手当普及啓発活動を展開します。

具体的な取組実績

平成29年度に運用開始する救急隊（8隊目）の準備をはじめ、高度救命資器材の強化を実施しました。救急救命士の養成人員を増員した他、救急隊の現場活動等の支援を精力的に行い、救急活動の強化を図りました。

平成28年4月から救急啓発グループを発足し、応急手当普及啓発業務を強化しました。従前は救急隊が主に実施していた救急講習に専門チームを派遣することで、より充実した講習が実施できました。

達成目標

救命率の向上に繋げるため、医療機関との連携を充実強化し、救急隊員の資質向上を図ります。

大規模な災害に備え、市民一人ひとりの自主救護能力の向上を図ります。

達成状況	達成度
救急隊員の資質の向上や消防隊の救急隊支援、医療機関との連携などの強化により、平成27年の救命率16.4%から、平成28年は25.9%に増加しました。	A 達成
救急講習受講者数が平成27年の7905人から、平成28年には9352人に増加しました。住民による救命処置ではAEDの使用が8件あり、うち5名が社会復帰しています。	A 達成

総合評価・総括

救急出動件数は前年より785件多い18,306件と過去最高件数を記録した中、救急隊員の資質の向上、消防隊の救急隊支援及び医療機関との連携など、救急救命体制の強化が、救命率の向上に繋がりました。また、救急啓発グループの発足により、応急手当の普及啓発活動が充実し、住民によるAEDの使用が増加するなど、市民の自主救護意識も高まっています。

部(局)名	消防本部
-------	------

重点課題 5 救助体制の充実強化

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標) 高度救助隊を整備し、救助体制の高度化を推進します。

活動目標

高度救助資機材の整備を推進し、大規模地震をはじめ災害対応能力の向上を図ります。

迅速な救助活動を遂行するため、救急隊や関係機関との連携を強化します。

具体的な取組実績

高度救助隊発足に合わせ、高度救助資機材を導入しました。また、これらの資機材を活用し、各種災害を想定した訓練を継続的に実施しました。

専門的な救急技術等の習得のため、専門教育機関の研修や各種合同訓練へ参加するなど、救急隊や関係機関との連携強化に努めました。

達成目標

高度救助隊を発足し、市民の「安心」「安全」の確保に努めます。

災害関係機関との相互連携に努め、万全な救助体制を構築します。

達成状況	達成度
高度な知識と技術を持つ高度救助隊を発足しました。また、市民の安心・安全確保のため、高度救助資機材を活用した訓練を継続的に実施し、救助体制の高度化を図っています。	A 達成
専門的な教育機関の研修や合同訓練等に参加し、災害関係機関との相互連携を強化しました。また、継続的に訓練を実施し救助体制の強化を図りました。	A 達成

総合評価・総括

万全な救助体制の構築と高度化を推進するため、高度救助資機材の導入と高度な技術、知識を持つ高度救助隊を発足しました。高度救助隊の発足により、更なる災害対応能力の向上を図ります。また、引き続き専門的な教育機関の研修及び各種合同訓練への参加を通じて災害関係機関との連携強化に努めます。

部(局)名	消防本部
-------	------

重点課題 6 消防通信指令事務の共同運用

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標) 消防通信指令施設を摂津市と共同で運用することで、消防力の効果的運用による市民サービスの向上を目指します。

活動目標

2市による共同運用のメリットを生かし高機能消防指令センターを適切に維持管理します。

最新の指令システムを効果的に運用し、災害対応の迅速化・効率化に努めます。

具体的な取組実績

吹田市、摂津市両市の職員が互いに連携し、高機能消防指令センターを適切に維持管理し運用することにより、さまざまな災害、市境付近で発生した火災、救急などに対しての応援体制を強化しました。

高機能消防指令センターの指令装置は、4画面フルタッチパネルディスプレイで構成され、電子ペンや手書き文字認識を採用することで、直感的な操作により負荷を軽減し、災害事案、救急事案等に対応する確実性、迅速性を向上しました。

達成目標

共同運用を推進し維持管理経費等の節減を図ります。

高機能消防指令センターの多種多様な機能を活用し、消防力の効果的運用を図ります。

達成状況	達成度
共同運用を推進することにより、維持管理経費等の節減を図ることができました。	A 達成
高機能消防指令センターの多種多様な機能を活用し効果的運用をを回れたとともに、高機能消防指令センターにおいて、消防隊等が研修を実施し、相互の意思疎通が強化されました。	A 達成

総合評価・総括

高機能消防指令センターを吹田市、摂津市で共同運用することにより、今後もさらなる消防力の効率的運用及び市民サービスの向上を図り、費用面での節減効果を目指します。

また、119番通報の内容に応じて出動車両選別、出動指令を行い、出動隊には現場活動に対する支援情報を送るとともに関係機関への連絡や一時的な報道対応も適切に実施します。